

キ ラ ト 瑠 香

愛 亦 心 目 に か れ

こいつを

ひと目見た瞬間

壊

してしまいたいと

体の奥が疼いた……

Ruka Kirato
presents

曖昧に
恋心が
かかれ

キラト
瑠香

募集をかけていた
専属ドライバーが
決まった

秘書が連れてきた
この女

笑った表情が
ブスすぎて

にま

にま

へーやあ

ひねりつぶして
やろうかと思った

FuFuFuFu

FuFuFuFu

Ruka Kirato
presents

いつを
ひと目
見た瞬間

愛 亦 心 昧 に か れ

好評
発売中

「発熱は愛撫のあとで」



サディスティックラブ 43P

キ ラ ト 瑠 香

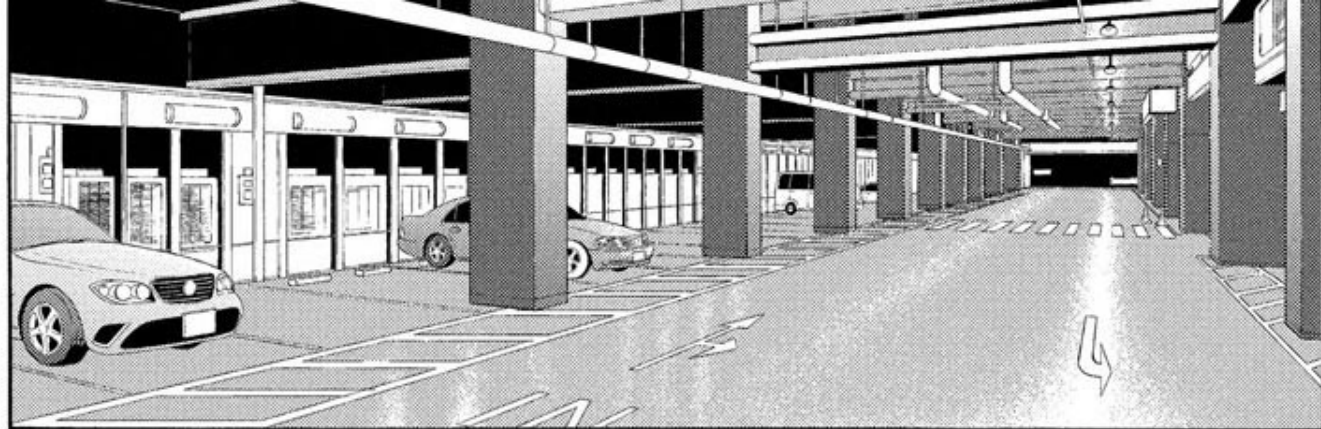
体の奥が
疼^{うず}
いた……

壊
してしまいたいと



超クール社長 × 専属女ドライバー すれ違うふたりの









だらしねー面^{ツラ}



来客対応が
終わり次第
岩谷とすぐに出る

それまでに車内と
その顔
整えておけ



は

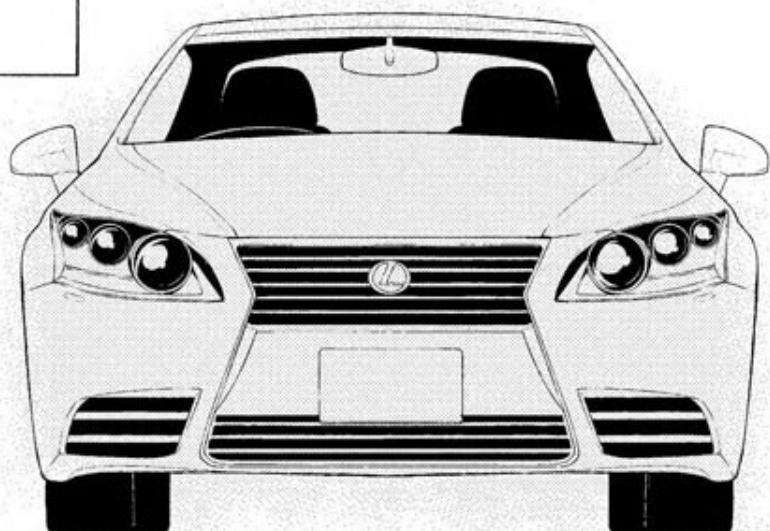


特にシート
キヤドー社^うが作った
最高級品だ

シミひとつ
残すなよ



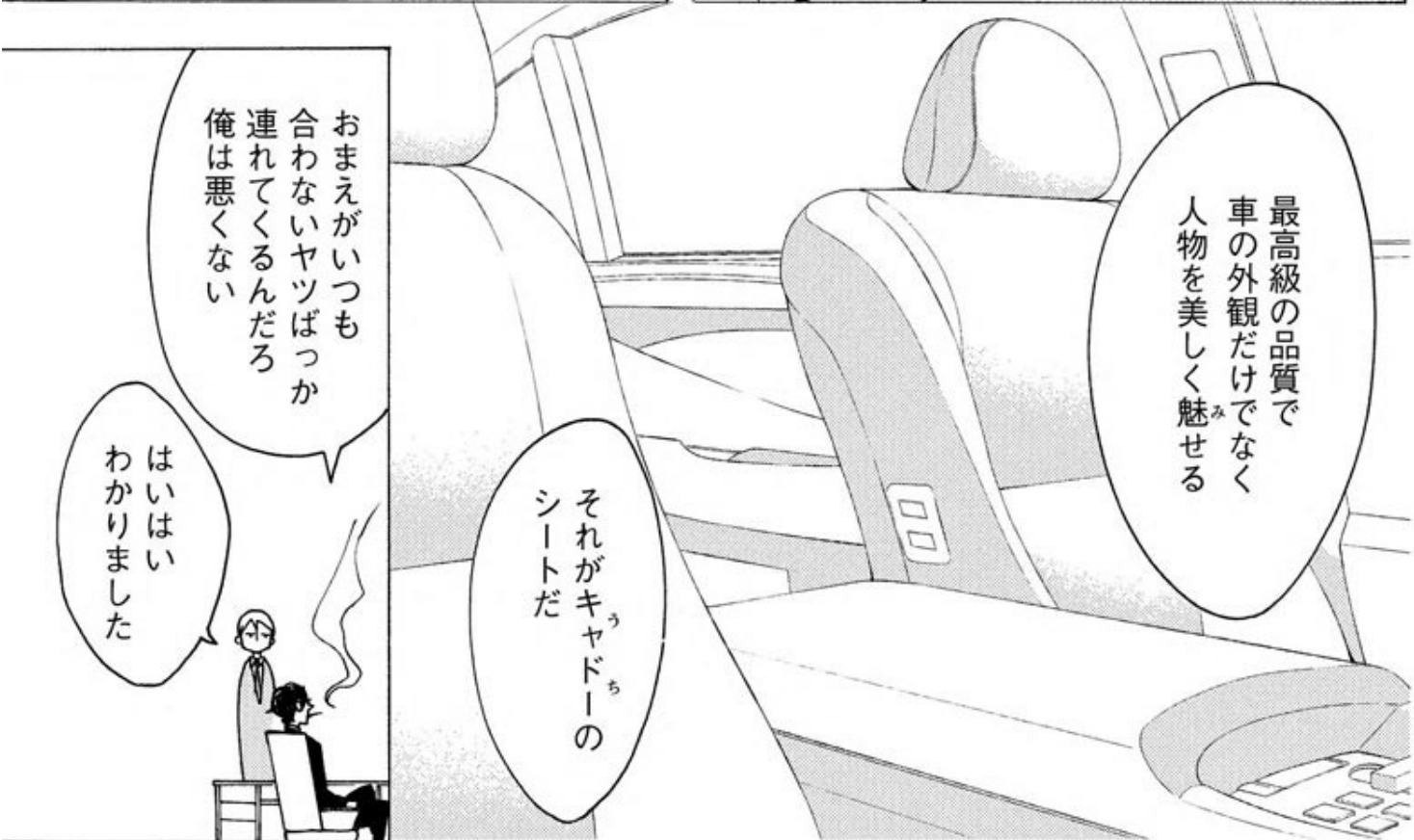
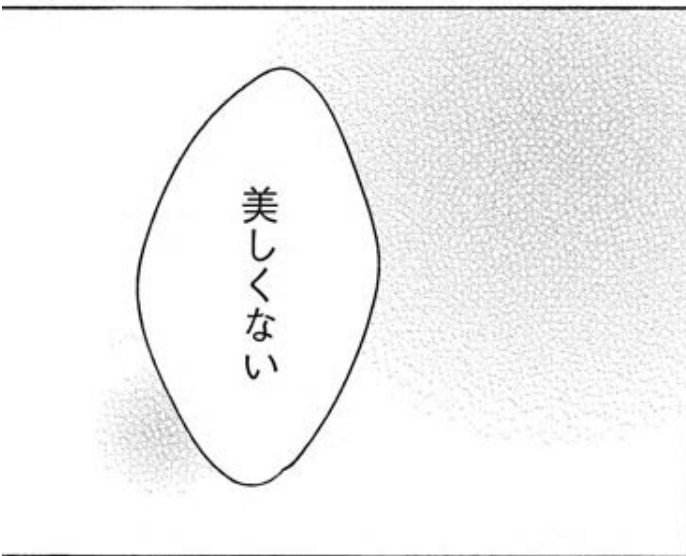
下品な関係に
なって早1年



きっかけは俺の
イタズラ心
だった

社長
新しい
ドライバーの方
決まりましたよ！









悪いが岩谷
もうしばらくは
おまえに秘書兼
ドライバーを頼む
ことになりそうだな

なぜですか
社長！

まだ運転手も
みてないし...

なぜ？



却下



表情が
醜い



イヤです

シッペン...

熟した果実が
無造作に
投げ入れられたみたいに

一瞬
ゾクツとした...

この話は
終わりだ
帰ってもらって
くれ

そんな社長...
そんな理由で...



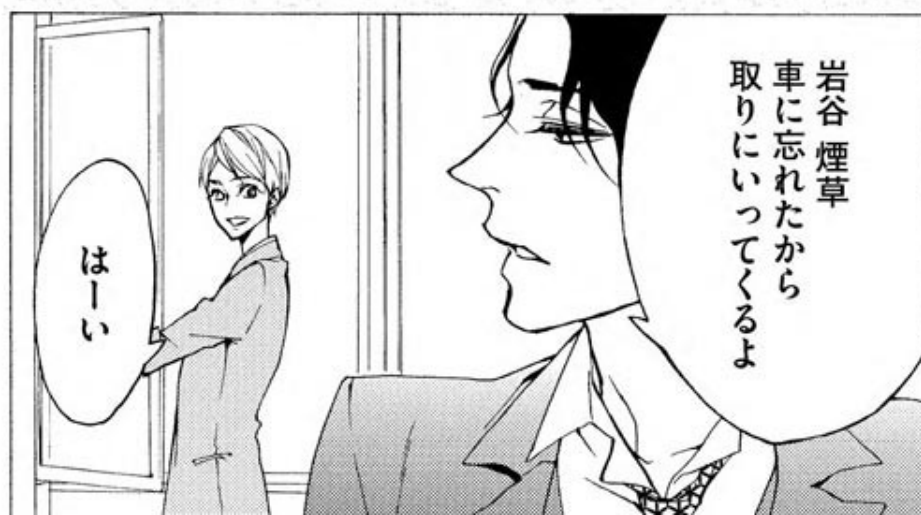
こ…

ここでっ
働かせてください！



…ああ

ひねりつぶしたい



岩谷 煙草
車に忘れたから
取りにいつてくるよ

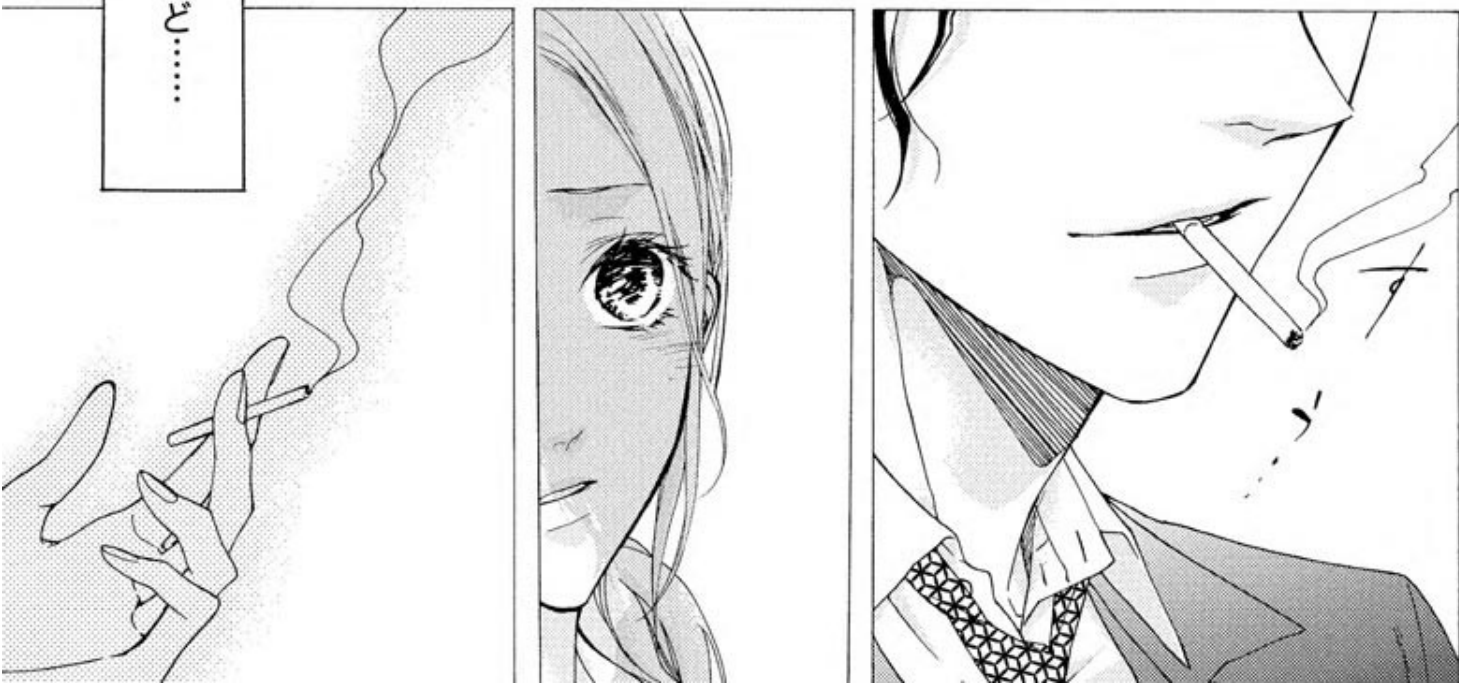
はい

たばこ
煙草
車の中に忘れた
かな…

〇〇〇







そんなのしてやんない

すい
あ

おいちかーった？

ハホ

ハホ

ハハハハハ
ハハハハハ

ハホ
ハホ
ハホ

だから

やだ

社長っ

忍んで

高揚して

どこ触って
たの？

ここ？

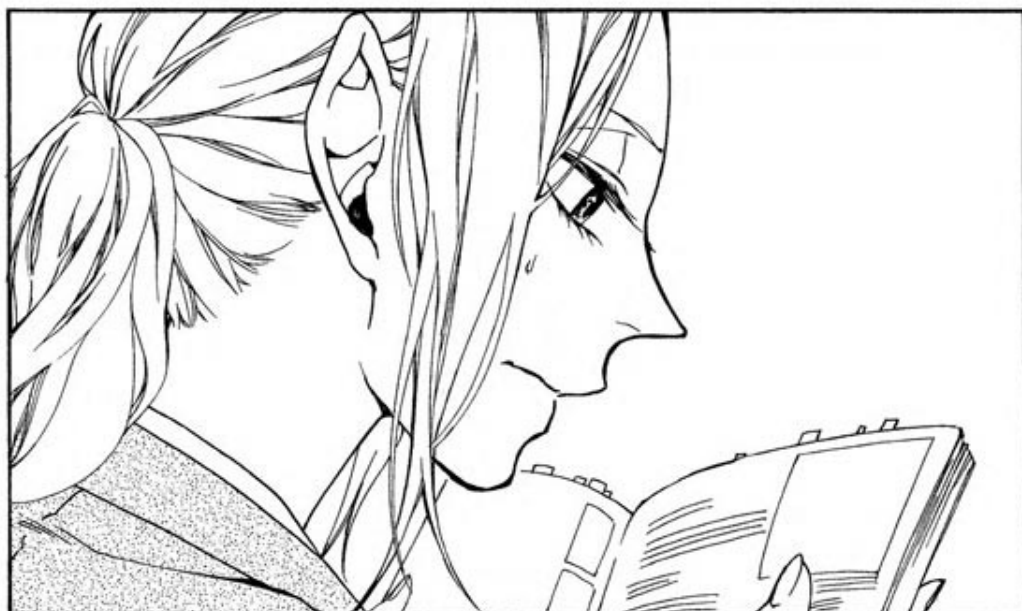
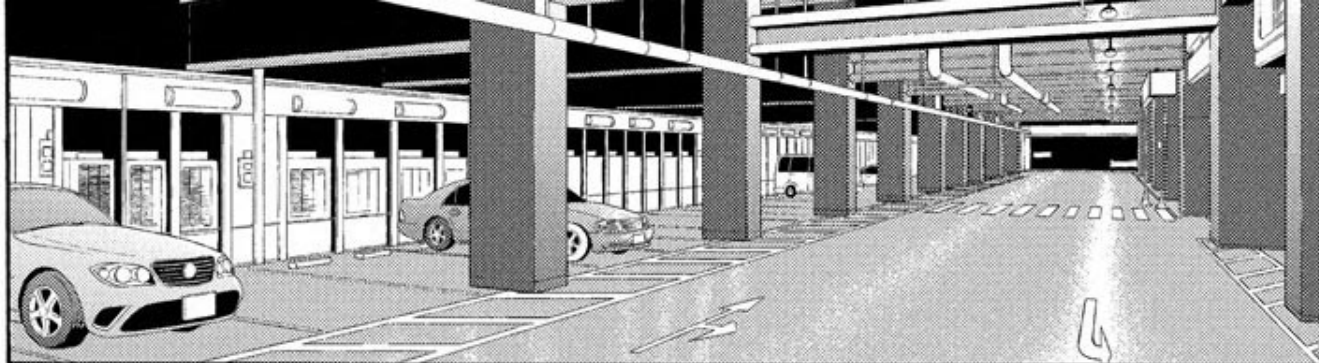
待って…

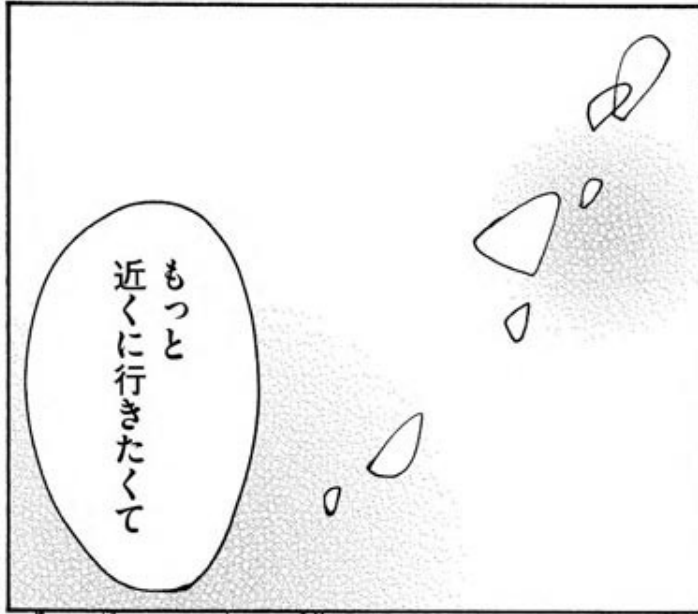
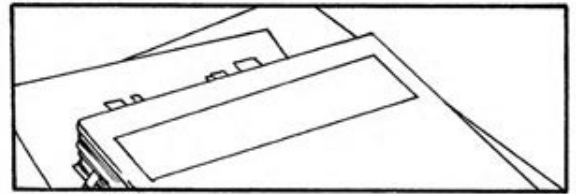
それともこっち？

おまえの表情が
どこまで崩れるのか

俺の手で
見てみたい

あっ









ええ
こちらこそ
ぜひ

それでは



あそこは
業界で一番
急成長している
会社で



あと5年もしたら
業界トップに
のし上がっている
はずだ

だから彼とは
今後も親しく
しておきたい

おまえの
ためにも
なるだろう



え？
私にですか



これ
なんだ？

あこれは
桐山さんに
差し入れをと
思っ



今日はお会いできて
光栄でした

また来週うかがいますので
よろしく頼みます

いつも俺たちばかり
中で食べてるから悪いな
って思ってたんだ

イラ

イラ

そんな…気に
しないでください

いつも夜遅くまで
無理させてごめんね…

ううん
いいんだ

それとエナジー
ドリンク
これも良かったら

えっ

そんなに…
申し訳ないです

ううん

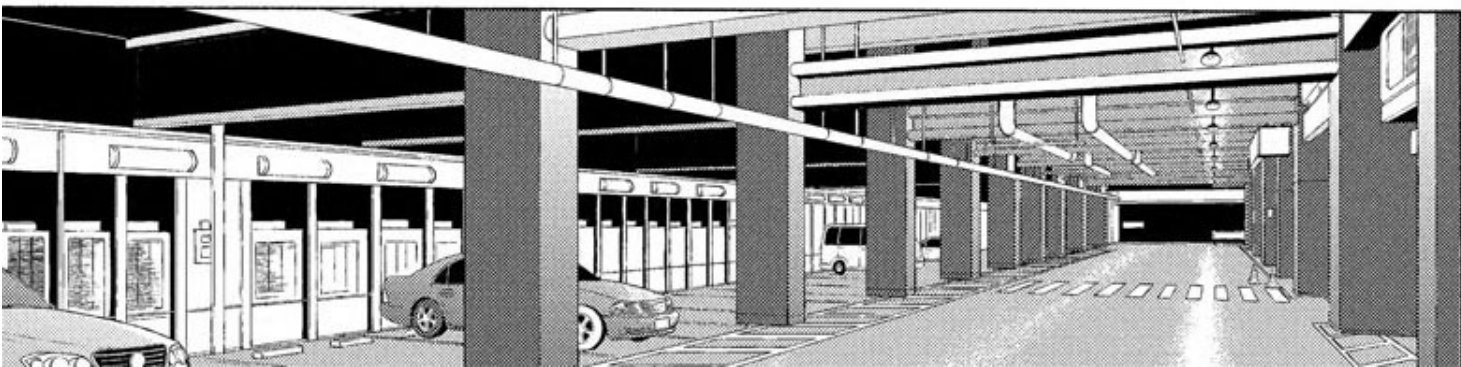
夜

遅くまで…？

ありがとう
ございますっ

そうか…

岩谷を好いてることなんて
前から知っていただろう





うん
また明日



手帳
上に忘れてきた
みたいなので取りに
いってきます

あとで連絡する
ので社長はこれで
お帰りください

やっきたー
ミエ



じゃあ社長
明日は……

あれ？



夕方にちょっと
ピンを割ってしまっ
て

それで……



桐山さんも
おつかれさま

はい
おつかれ
さまです



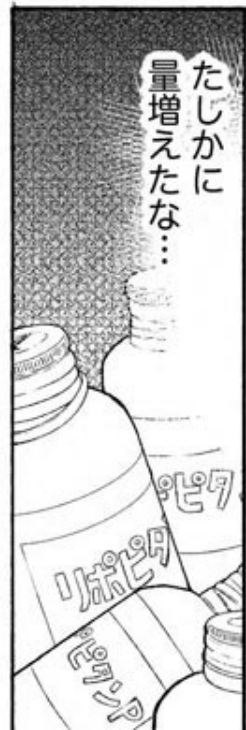
手どうした？
血にじんでるぞ

あ
これですか？



ハンドルに
血ついてたら
ふいておくので
安心してください

え
ああ……



たしかに
量増えたな……



社長
お帰りで
いいですか？

……

夜ふたりで
会ったり一
してるんだらうか……

社長？

いやそんなこと
俺には関係ない
どうでもいいことだ

どうでもいい
ことなのに……

しゃちょー？

俺が貼りなおして
やろうか？

じゃあ今





おまえの表情^{かお}を
ゆがませたい



俺のひと言で

俺の行動で



極限まで



痛^{いた}っ

だから…

社長
帰れなかったん
ですね

え
ああ

お疲れさまです

また明日
お願いします

ああ
また明日

0/A







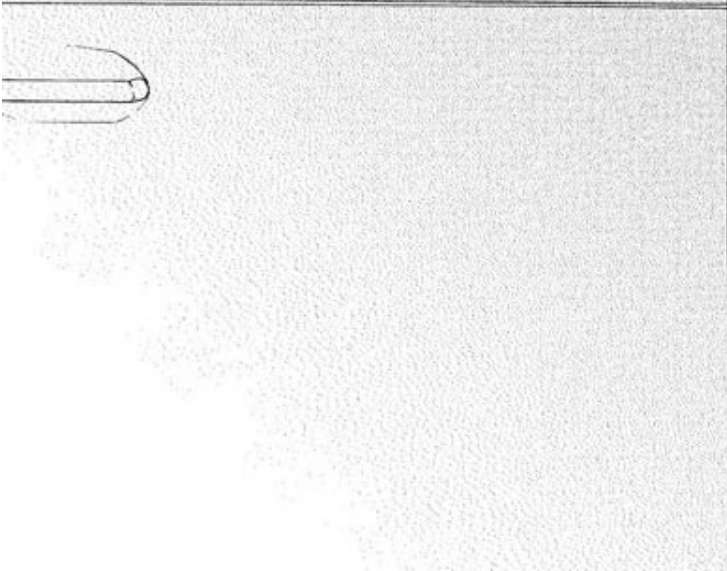




だったらもう



見ないでください



今日はひどく

醜い顔だな

はは

こりやいや

誰と会っても
どこに行っても

この社長は
愛想笑いと
軽薄口で

鏡に映る
自分の姿が

なりたくない
思っていた人間に
なっていた

あ

あ

ん

あ

す

あ

あ







………

んっ
っ



かお
表情ぐちゃぐちゃ

離れなくて……



素直で

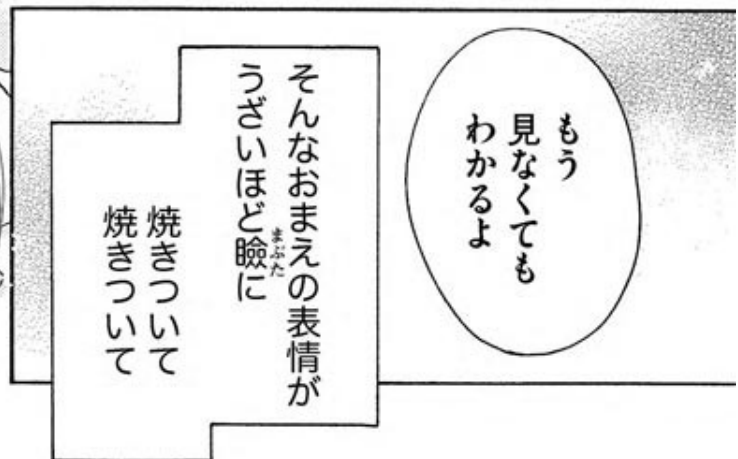
感情が
むき出しで

…ほんとに
おまえは
いつも醜いな



今私のこと
見えない
でしょう？

俺の言葉に
一喜一憂して



もう
見なくても
わかるよ

そんなおまえの表情が
うざいほど^{まぶた}瞼に

焼きついて
焼きついて

もう

見ないでくださいって
言ってるのに…

そんなだから

俺はきつと
おまえのことが…



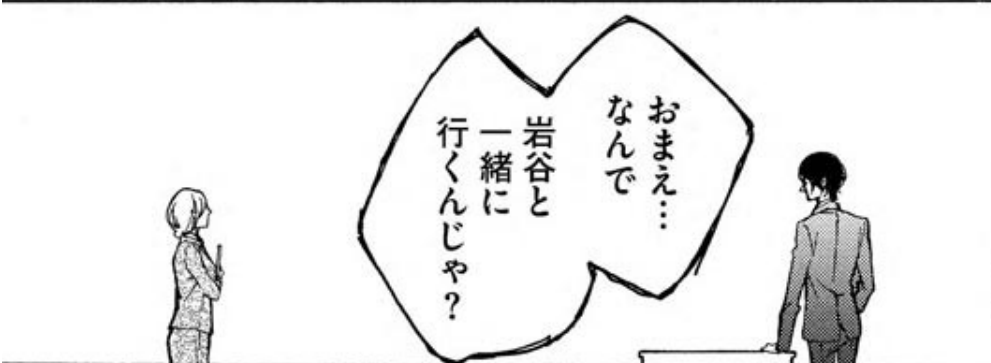




私が見つかるまで
かけもちいたします

そっちのほうはどう…

秘書もだが
ドライバーもだろ



おまえ…
なんで
岩谷と
一緒に
行くんじや？



岩谷さんの引き継ぎを
させていただきます

桐山みほのです

私そんなこと
ひと言も
言ってません

社長が勝手に
勘違いしてたんです

は？

桐山さん
ずーっと社長のそばで
働きたかったんです

「俺は
外見じゃなく
中身が最高級の
モノしか
認めない」

発行所 株式会社ぶんか社

〒102-8405

東京都千代田区一番町29-6

www.bunkasha.co.jp

※本作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。

※本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、転載、改竄、上演、放送および公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、著作権法上の例外を除き禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードなどの著作権保護技術を解除して行うことはできません。